

〈ねらい〉

今や ICT は日常的に使われており、子どももパソコンやタブレットに触れる機会が増えています。そこで、ICT を授業でも活用することで、子どもの興味・関心を引き出し、「もっと知りたい、もっとやってみたい」という意欲を高めることができると考えました。本学級には、学年・発達段階ともに様々な子どもが在籍しているため、誰もが「もっと知りたい、もっとやってみたい」という気持ちになれる授業を目指して、動画や写真などの視覚的な情報を多く取り入れて、実践を行いました。

〈活動の様子〉

国語科の授業で、世界の絵本を楽しむ活動を行いました。1組では「にじいろのさかな」2組では「はらぺこあおむし」を扱いました。授業冒頭で絵本を紹介すると、「知ってる!」「初めて見たよ」など思いの言葉を口にしていました。教師用タブレットで作者や表紙絵などの写真を提示し、物語の内容を想像させると、「お宝探しの冒険かな」「食べ物を食べる話かも」と、物語に興味を示しながら豊かに想像を働かせることができていました。その後、教師用タブレットで絵本の読み聞かせの動画をテレビに映して読み聞かせを行いました。文章を聞いたり読んだりすることが難しい子どもでも最後まで楽しみながら聞くことができていました。動画の前半を見終わると、「続きが気になるよ」「この後は何食べるのかな」と子どもはもっと知りたいという気持ちで一杯のようでした。クイズ形式で物語の振り返りをすると、全員が動画で見たことを思い出しながら振り返ることができました。

授業導入で写真を見せ、子どもの興味・関心を引き出すことや、読み聞かせの動画を見せることで、子どもは内容を理解しながら集中して話を聞き、感想を伝え合うことができました。後期には、児童用タブレットを活用し、体験的な活動を中心に、「もっと知りたい、もっとやってみたい」という気持ちを高めていくことができる授業づくりを行っていきたいと考えています。



【1組で物語の内容を確認する児童の様子】



【2組で読み聞かせ動画を見る児童の様子】